



# Der Brückenpfeiler

2022年5月

※Der Brückenpfeilerは「橋脚」という意味のドイツ語です



公益財団法人 日独協会 情報紙  
2022年5月1日発行（不定期発行）  
編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会  
〒160-0016 東京都新宿区信濃町18 マヤ信濃町2番館  
電話 03-5368-2326/FAX 03-5368-2065  
Website : <http://www.jdg.or.jp> Mail : [jdg@jdg.or.jp](mailto:jdg@jdg.or.jp)

## 日独協会からのお知らせ

### \* 2022(令和4)年度個人維持会員継続のお願い

年度の個人維持会員継続のお願いを3月号の情報ペーパーとともにお送りしております。コロナ禍が続いておりますが、今後も会員の皆様に魅力ある活動と集いの場を提供できるよう努めて参りますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。2021年度末をもって退会される場合は、お名前と会員番号、退会希望の旨を書面（郵便、FAX、E-Mail）にてお送り下さい。なお、新年度の年会費が5月末日までに確認できない場合は、会報誌の送付を停止させていただきます。

### \* 会員証の送付

今年度の会費をお納めいただいた方には、順次会員証をお送りしておりますが、現在事務作業がたてこんでおり、送付が大幅に遅れております。申し訳ありませんが、もうしばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

### \* ご支援のお願い

コロナ禍が続く中、協会ではオンラインに切り替えるなどして、イベントや講座といった活動を続けてまいりましたが、財政的に厳しい状況が続いています。少しでもご寄付などでご支援いただけましたら幸いです。皆様からのご寄付は、協会の活動をはじめ、今後のドイツ語圏研修生受入れなどの経費として活用させていただきます。

### \* 新研修生

昨年10月から入国を待っていたマリア・クラークさんがようやく来日。4月19日より日独協会にて研修をはじめました。本紙にインタビューを掲載しています。

### \* 2022年上半期ドイツ語講習会開講中

オンラインクラスと通学クラスがあります。満席になっていないクラスに関しては途中からの参加も可能です。体験も受付しておりますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

<http://www.jdg.or.jp/course>

### \* 協会事務所の事務取扱時間

引き続き、事務所開館及びお電話でのお問い合わせ受付時間を平日午後2時から5時とさせていただきます。

### \* Die Brücke 6月号は6月1日に発行予定です。

**ドイツ語講習会 2021 年度下半期コース**

火～日曜日

**Deutschkurse in der JDG Oktober 2021 - März 2022**

jeden Di.-So.

**ドイツ語春期講習会**

3/4 (金)～3/26 (土)

**Frühlingsintensivdeutschkurs**

Datum: Fr., 4. 3. 22, - Sa., 26. 3. 22

**シュプラッハトレッフ (日独言語交換会)**

3/12 (土) 19:00～20:30

**Sprachtreff**

Datum: Sa., 12. 3. 22, 19.00-20.30

日独合わせて 25 名にお集まりいただきました。開催後のアンケートでは、「たくさん話してコミュニケーションがとれる」「様々な話題について語ることができた」という感想の中に、「事前に決められたテーマがあったほうが話しやすい」といったご提案もあったので、今後検討していきたいと思えます。毎回、申込の際にお伝えいただくレベルをもとにグループ分けをし、日本語母語話者とドイツ語母語話者がグループ内にバランスよく入るよう担当者が工夫していますが、急なキャンセルなどで、せっかく作ったグループ内の人数バランスが崩れてしまったり、日独のどちらかの母語話者がグループ内にいなくなってしまう、急遽グループを作り直すことなどもあります。参加者にはそのことを考慮し、急なキャンセルをしないよう、ご協力をお願いしたいです。

昨年から今回まで Sprachtreff の運営リーダーを務めてくださった伊藤退助さんが担当する最後の回でした。今後は研修員のマリア・クラークさんが担当いたします。

**ドイツ時事問題研究会**

3/19 (土) 15:00～17:00

**Studiengruppe "Deutschland aktuell"**

Datum: Sa., 19. 3. 22, 15.00-17.00

当月の主なトピックスは、ウクライナ情勢をめぐるドイツの動きが中心で、それ以外では

- ①企業が環境、気候、人権の面でサプライチェーン全体に責任を負う制度を EU が検討していること、
- ②エネルギー価格の大幅な上昇により、年初に遡及して通勤費控除額の引き上げなどが決まったこと、
- ③インテルがマクデブルク近郊にメガ・ファクトリーの建設を決定したことなどをとりあげた。

ロシアのウクライナ侵攻については、

- ①ドイツ政府がバルト海の海底を経由するパイプライン・ノルトストリーム 2 の認証手続きを凍結、
- ②ウクライナに国防軍保有の対戦車砲 1,000 丁など武器供与を決定したこと、
- ③シュルツ首相が 2022 年予算から国防軍装備に

1,000 億ユーロの特別会計を設けるとともに毎年の予算で GDP の 2% を国防費に充当することを EU 首脳会議でも発表し、全員の賛意を得たこと、

- ④2008 年の NATO 首脳会議で独仏の反対により即時加盟を見送ったこと等でプーチン大統領が西側を弱腰と見てウクライナ侵攻を決めた背景とする見方（ラスマッセン前 NATO 事務総長）もあること、
- ⑤ロシアの石油／ガス企業の役員を続けるシュレーダー元首相に対する反発が強まる一方、同氏が個人的立場でロシア・ウクライナ関係で何らかの行動をしていること、

今月予定したテーマは 2 つあったが、ウクライナ問題に関する報告や質疑応答に多くの時間を要し、「民意の汲み上げ」については次回以降に回し、前回に続いて「数字でみる世界の中のドイツと日本」について今後の日独関係の強化念頭に新井世話人が様々な角度から報告した。参加者から多くの意見が出される一方、データが豊富で、次回さらにはそれ以降も継続していく予定。(伊崎 捷治)

**独逸塾**

3/21 (月) 19:00～21:00

**Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland**

Datum: Mo., 21. 3. 22, 19.00-21.00

参加人数 26 名。

記事 1: ドイツの電気自動車への軌道修正

(2021 年 12 月 1 日シュピーゲル誌)

2021 年ミュンヘンのモーターショーでドイツ各自動車メーカーが電気自動車を発表したことで 2021 年が自動車業界が辛うじて危機を脱出した年として歴史に刻まれる年となるかもしれない。

結論: ドイツの自動車業界は電気自動車へと舵を切ったが、VW の会長が全従業員に述べた「次のベストセラー車はゴルフに代わりテスラ社に譲ってはならない」との社長の檄が霞んできている。

記事 2: ドレスデンの空襲の追悼式

(2021 年 2 月 13 日中部ドイツ放送)

①毎年 2 月 13 日、第 2 次大戦の空襲で亡くなった約 25,000 人の追悼式がドレスデンで行われるがコロナの影響で今回「人間の鎖の輪」はデジタルで開催。

②毎年ネオナチが台頭し、反ナチズムの同盟「ドレスデンフリー」と衝突している。今回は警察の統制で問題なく収まった。

③「人間の鎖の輪」はコスモポリタリズム（人間解放）と反ユダヤ主義、反人種主義を意味している。

当時 9 歳で生き残ったギュンター・ウルブリヒト氏は「市民の勇気」のために立ちあがることを呼びかけた。国に市民的勇気（人間の尊厳、正義、困っている人を助ける）を持つ市民が多いほどヒトラーのような独裁者は必要なくなる。

ドイツ語の解釈で活発な議論があった。

(森永 成一郎)

## 会員懇談会サロン

「西独しか知らない男が見た今日のドイツ」

3/24 (木) 19:00~21:00

Datum: Do., 24.3.22, 19.00-21.00

再開第一回目のサロンには皆さんがお話を期待されている黒川大使にご登壇頂いた。先ず戦後の西ドイツの政治状況を分かり易くまとめられた上、歴代の西ドイツの首相の残した功績について述べられた。特に、アデナウアーの主権回復、エアハルトの経済復興、ブランドの新東方政策、メルケルのフランスと提携しての EU 主導を挙げられた。尚、コールにより東西ドイツの統一が実現することとなるが、統一後の問題点のご指摘は大使独自の大変興味深い内容であった。

そして更にドイツの今後の課題について触れられ、

- ①国際社会と EU に於けるドイツの立場の再構築
- ②内政面では CDU/CSU/SPD が協力しながら如何に左右両派の支持の獲得を図り、国内政治の安定化を構築するか
- ③経済・社会政策の再構築（特に、少子高齢化、環境保護主義、移民急増、エネルギー供給

網、自動車電化等、社会の寛容化) に十分に対処できる後継者をメルケルは育成しなかった人材育成上の問題。これは大変残念なことであると述べられた。

最後に今後の日独交流の在り方について ①共通の価値観（自由・民主主義）を大事にし、共同で課題（少子高齢化）を克服する道を創造すること。②日本人の見落としがちな点に注意をすること。特に日独関係につきものの師弟意識。ドイツ人のアジア認識が浅く、中国偏重に対する日本人の認識。③今後とも重要な外国語の一つとしてドイツ語を学び、ドイツ人と議論しながらお互いに学ぶこと。以上の点を明解に述べられ、質疑に移った。（金谷誠一郎）

## お花見さんぽ

3/27 (日) 13:30~16:00

Hanami-Spaziergang

Datum: So., 27. 3. 22, 13.30-16.00

このイベントのレポートは 6 月号の会報に掲載予定。



## 新研修生マリア・クラークセン (Maria Claßen) さんインタビュー

4 月半ばによく研修生のマリアさんが来日しました。これから 9 月末まで研修いたします。

### 出身地：

ルール地方の Hattingen という街が出身ですが、小さいころと同じ Nordrhein-Westfalen 州にある Recklinghausen に引っ越して、ずっとそこに住んでいます。ここは「Ruhrfestspiele」という夏のお祭りが有名で、外国からもたくさんの観光客が来ます。

### 日独協会での研修を選んだ理由：

おばあちゃんのお姉さんがアジア関係の本をたくさん持っていて、自分も小さいころから日本語に興味を持ち、最初、市民大学で日本語の初歩を学んだ後、大学から本格的に勉強をはじめました。昨年、協会主催の Sprachtreff（日独言語交換会）に参加した時に、当時の運営チームの方々の雰囲気がとても良く、自分もそういった活動に参加したいと思いました。

### 趣味：

カラオケです。十八番は中島みゆきさんの『夢見る勇氣』。友人とカラオケに行くと 3 時間くらいは楽しめます。山登りも好きです。山登り好きだったおじいさんが毎夏にいろいろな山に登るので、一緒に登りました。印象的なのが Brocken 山。魔女が毎年集会をされている山で、おじいさんに小さな魔女の人形を買ってもらいました。それに、料理も好きですよ！

### 日本語で良く使う言葉：

「たしかに！」をよく使います。ドイツ語だと



「Stimmt!」という感じですね。なかなか覚えられなかったのは「求める」という言葉です。どんな時に使うのかわからなかったのですが、アニメで使われているのを聞いて、腑に落ちました。

### 好きな食べ物：

抹茶とあんこ！日本に着いた日にホームステイ先のおばあさんが、お汁粉を準備してくれて、とてもうれしかったです。たい焼きも大好きです。デュッセルドルフにたい焼きの専門店がありますが、日本に比べると値段がとても高い。。納豆も食べますよ。

### 日本で毎日やっていること：

ホストマザーとの約束で、夕飯は私が毎日作ることになっています。これまでボロネーゼやビーフシチューを作りました。

### 会員へのメッセージ：

コミュニケーションを取るのが好きなので、いろんな方と色々なお話をしてみたいです。イベント等でお会いすることがあればぜひ話しかけてくださいね！

## イベント紹介

### ヨコハマ・フットボール映画祭

福島 成人 (実行委員長)

皆さんはじめまして。ヨコハマ・フットボール映画祭の福島と申します。この映画祭は世界で毎年 100 本近く製作されるサッカー映画の中から日本のサッカーファン、映画ファンと一緒に楽しむ作品を上映するイベントです。

自分たちと同じようなサッカー映画祭は世界にも沢山ありまして、その中で一番大きいのは、ベルリンで開催される「11mm」です。アレクサンダー広場の近くの、「バビロン」という映画館で、70 本近くのサッカー映画が上映される結構なスケールの映画祭で、ドイツ人のサッカー好き、映画好きが感じられますね。「11mm」の次に大きいのはブラジルの「cinefoot」という映画祭です。

ドイツ人はサッカー映画を作るのも大好きで、『コッホ先生と僕らの革命』、『ベルンの奇蹟』は日本でも有名ですし、ヴィム・ヴェンダース監督の商業デビュー作はピーター・ハントケ原作の『ゴールキーパーの不安』だったりします。(あまりサッカーシーンは出ませんが)

さて、今年のフットボール映画祭でセレクトしたドイツ映画 1 つ目『アディダス vs プーマ 運命を分けた兄弟』はその名の通り、ドイツが生んだスポーツメーカーの創業者兄弟の物語です。



©Zeitsprung Pictures GmbH and G5fiction

天才靴職人の弟と経営上手の兄が手に手を取って、世界一のスパイクメーカーを目指す、次第に心が離れ、ナチスの台頭がその

亀裂を決定的なものに。。

当時の衣装や風景も美しく、スポーツ好きでなくても十分楽しめる作品です。

2 作品目の『はなれていても』は小学校高学年の男



©Weydemann Bros. GmbH

の子が主役の、いわゆるジュブナイル映画 (少年少女期を題材にした映画) です。ルール地方の小さな村で人気者だったベン。しかし、村の開発で見知らぬ土地に引っ越すことになるが、新しい学校にはなじみず、スクールカーストの下位に甘んずることに。ほどなく、もう一人の転校生タリクがやってくる。屈託のないタリクだったが、実はシリアからの難民で笑顔の裏に心の傷を抱えている。二人はサッカーを通じて、心を通わせていくが。。

『アディダス vs プーマ』とは打って変わって、この作品は現代ドイツを舞台にしつつ、相手を思いやることの大切さを描いています。

時々、「サッカーファンじゃないのにフットボール映画祭に行っても良いのかしら？」という心配を口にされる方がおられます。自分には「ドイツ人じゃないのにドイツフェスティバルに行っても良いのかしら？」と言っているように聞こえます。

せっかくのドイツ映画が上映される貴重な機会なので、ぜひ、奮って遊びに来てください。

ヨコハマ・フットボール映画祭 2022

『はなれていても』 6月4日(土)16:50~

『アディダスvsプーマ』 6月5日(日)15:30~

会場: かなっくホール(東神奈川駅徒歩2分)

チケット: 4月29日(金)より発売開始

日独協会 会員向け優待価格

チケット 1800 円 → 1350 円 に!

チケット購入時にクーポンコード YFFFT をご入力ください。

公式サイト: <https://yfff.org/>

## Informationen

### ドイツ関連の催物

#### (Veranstaltungen mit Deutschlandbezug)

#### 劇団シヅマ 第一回公演

#### 「最後の炎」デア・ローア作

現代のドイツ演劇を代表する劇作家ローアの作品が上演されます。

日程: 2022年5月27日(金)~29日(日)

会場: spaceEDGE・渋谷

後援: (公財) 日独協会

詳細: <https://shizuma.tokyo>

主催: 日本バウハウス協会 オンライン講演会

#### 【Synesthesia Scenery (シナスタジア・シーナリー)】

ー バウハウス黎明期のワイマールとその創造的翻訳 ー

日時: 2022年5月26日(木) 18:30-20:30 (無料)

講師: 渡邊 大志先生

(早稲田大学創造理工学部建築学科准教授)

お問合せ: 日本バウハウス協会

<http://nipponbauhaus.jp/news-20220420>

申込み: 2次元コードまたは下記 URL

<https://forms.gle/frsScVGvBTzdY9tt9>





(公財)日独協会が開催する催物のご案内です。会員以外のご参加も歓迎ですので、お気軽にご参加下さい。  
申込方法は次の通りです。

- ① E-Mail、オンラインフォームもしくは FAX にて、会員の方は会員番号(ブリュッケ送付の封筒に記載されています)を、会員以外の方は氏名と連絡先(電話・メールアドレス)を記載の上、ご送付下さい。(E-Mail の場合は件名に必ず「●●●●(催し物名)の申込」とお書きください。  
※頂いた個人情報は、当協会のイベント開催以外に利用することはありません。
- ② 会場を明記していない催物はミーティングシステム ZOOM を使ったオンライン開催となります。
- ③ 特に記載のないものは事前申込制・先着順の受付となります。

日独協会の概要及び催物最新情報はホームページでもご覧頂けます。 ▣ <http://www.jdg.or.jp>

E-mail : [jdj@jdg.or.jp](mailto:jdj@jdg.or.jp) Tel. : 03-5368-2326 (受付時間 月～金 14:00～17:00) Fax. : 03-5368-2065

◇独逸塾：「ドイツのニュースを楽しむ会」◇

世話役：森永成一郎 氏

日時：2022 年 5 月 16 日 (月) 19:00～21:00 (18:30 からオンライン上で開場) **申込期限**：5 月 13 日 (金)

会費：無料

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一通り終えた方向けで(新聞記事には間接話法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう)、「お試し参加」、聴講のみも可能です。新しく参加希望の方は、協会( [jdj@jdg.or.jp](mailto:jdj@jdg.or.jp) )から世話人配布の資料をメールで送ってもらってください。

◇ドイツ時事問題研究会◇

世話人：伊崎捷治 理事、新井修三 氏

日時：2022 年 5 月 21 日 (土) 15:00～17:00 **申込期限**：5 月 19 日 (木) 18:00 **会費**：無料

テーマ：毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ(複数可)を決定 **定員**：20 名

**申込**：事前にメールで参加申し込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野で関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながら、ドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて議論しましたが、これからもコロナ危機の克服、経済再活性化、ドイツが EU の強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを採りあげていきます。

◎ 本イベントは世話人の伊崎捷治氏に直接お問合せ、お申込下さい。

Tel. : 080-1137-5111 E-mail : [isakis\(a\)snow.ocn.ne.jp](mailto:isakis(a)snow.ocn.ne.jp) ※ (a)は@に書き換えてください。

◇Sprachtreff◇

担当：マリア・クラセンさん(研修生)

日時：2022 年 5 月 21 日 (土) 日本時間 19:00～20:30 ドイツ時間 12:00～13:30 **定員**：16～20 名程度

会費：(公財)日独協会会員：無料 / 一般：2,000 円

**申込み**：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

語学の習得はいつも難しいものですが、座学以外にも、皆さんで楽しくおしゃべりすることで、さらにドイツ語を上達させることができます。レベルごとに 1 グループ 4 人程度に分かれ、テーマに沿って皆さんでおしゃべりします。グループでのおしゃべりの時間は日本語とドイツ語 30 分ずつですので、両言語平等に話すことができます。(上級はテーマと言語の時間指定はありません)。また、B1 レベルまでのグループにはコーディネーターが付くので、トークに行き詰って場がしらけてしまうという心配もありません。どうぞお気軽にご参加ください。

**参加条件**：ある程度ドイツ語で会話ができる方(目安：A2 以上)



◇**Glück Auf** 皆さん! ~マリアの故郷 **Recklingshausen** を紹介します~◇

担当: マリア・クラークさん (研修生)

日時: 2022年5月27日(金) 19:15~21:00 頃

会費: (公財) 日独協会会員: 無料 / 一般: 1,000 円

申込み: 協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

マリアさんの故郷はルール地方にある Recklingshausen。今回は、街の見どころやお気に入りの場所、伝統文化、ルール地方の言葉も紹介してもらいます。参加者の皆さんとおしゃべりしながらの気軽で楽しい会にしたいと思います。日本語メインでお話しします。

◇**会員懇談会サロン**◇

世話役: 金谷誠一郎 理事、佐藤勝彦 理事

講演タイトル: 「ドイツの大学: 昔と今」

講師: 木戸 裕氏 (千葉県日独協会副会長、前国立国会図書館専門委員、東北大学、上智大学、国際基督教大学、立教大学、高崎経済大学等で非常勤講師を務めて居られ、比較教育学がご専門)

日時: 2022年5月30日(月) 19:00~20:30 会費: 無料 定員: 50 名

申込方法: お名前、(公財) 日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、金谷誠一郎理事までメールでお申込みください。金谷理事メールアドレス: [skanaya@a2.rimnet.ne.jp](mailto:skanaya@a2.rimnet.ne.jp)  
申し込まれた方に、招待メールをお送りします。

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Bei einer Anmeldung per **Fax (03-5368-2065)**, **E-Mail ([jdg@jdg.or.jp](mailto:jdg@jdg.or.jp))** oder **Online-Formular** geben Sie bitte Ihren Vor- und Nachnamen, Telefonnummer und ggf. E-Mail-Adresse an. (Schreiben Sie bitte bei einer E-Mail in die Betreffzeile „Anmeldung für XXX“)

3. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt ist, findet die Veranstaltung Online statt.

Falls Sie nach der Anmeldung nicht an der Veranstaltung teilnehmen können, bitten wir Sie, die JDG möglichst frühzeitig darüber zu informieren, da ansonsten eventuelle Stornokosten anfallen.

Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (<http://www.jdg.or.jp>).

E-Mail : [jdg@jdg.or.jp](mailto:jdg@jdg.or.jp) Tel. : 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14:00~17:00) Fax. : 03-5368-2065

**Sprachtreff**

**Datum:** Samstag, 21. Mai 2022, 12.00-13.30Uhr deutscher Zeit (19.00-20.30 Uhr japanischer Zeit)

**Beitrag:** Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos  
Alle anderen: 2,000Yen

**Anmeldung:** Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Wir bitten um eine Anmeldung zum Sprachtreff ab einem A2 Sprachlevel, damit alle Teilnehmer aktiv am Gespräch teilnehmen können.

Die Oberstufe ist im Allgemeinen frei bei Themenauswahl und Sprachwahl. Die Gruppen bis B1 Niveau werden von unserem Moderatorenteam mit interessanten Themen und sprachlicher Hilfe unterstützt.

Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf eure Teilnahme!

**Glück Auf, zusammen! -Maria führt in ihre Heimatstadt Recklinghausen ein-**

Datum: Freitag, 27. Mai 2022, 19.15-21.00 Uhr japanischer Zeit

Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos  
Alle anderen: 1,000Yen

Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Marias Heimatstadt ist Recklingshausen im Ruhrgebiet. Bei dieser Veranstaltung stellt sie Ihnen die Sehenswürdigkeiten, Lieblingsplätze, traditionelle Kultur und die Sprache des Ruhrgebiets vor. Es wird ein lockeres und unterhaltsames Treffen sein. Bei dieser Veranstaltung wird hauptsächlich Japanisch gesprochen.